

1. 基本情報

- (1) 国名：ベナン共和国（以下、「ベナン」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：コトヌ市
- (3) 案件名：第二次コトヌ市ベドコ交差点立体交差建設計画（The Project for the Construction of the Flyover of Vêdoko Intersection in Cotonou City, Phase 2）
- (4) 計画の要約：本計画は、コトヌ市内のベドコ交差点において、立体交差建設を行うことにより、同交差点及び市内幹線道路の交通渋滞の改善並びに歩行者と車両との接触事故の減少を図り、もってベナン及び西アフリカにおける物流の改善、連結性の向上及び経済成長の促進に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性**(1) 本計画を実施する外交的意義**

ベナンは、政情及び治安情勢が不安定な国が多い西アフリカにおいて、民主主義を維持、進展させている国の一つである。同国は、国際場裡において我が国の基本的立場を支持する友好国であり、国家元首が過去7回開催された TICAD の全てに参加している等、我が国と良好な協力関係にある。

同国は、西アフリカ「成長の環」広域開発において重要なアビジャン・ラゴス回廊（東西国際回廊）上の主要通過地であり、内陸国を結ぶコトヌ・ニアメ回廊（南北国際回廊）の起点となっている。とりわけ同国最大の商業都市であるコトヌは、西アフリカ主要港の一つであるコトヌ港を擁しており、域内の物流及び交通の要衝となっている。

(2) 当該国における道路セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

ベナンは、人口 1,212 万人（2020 年、世銀）、一人当たり国民総所得（GNI）は 1,280 米ドル（2020 年、世銀）であり、後発開発途上国に分類される。ベナンは西アフリカのギニア湾沿岸に位置し、南北に細長く、国の東西はトーゴ及びナイジェリアに、北側はブルキナファソ及びニジェールに隣接している。これら周辺国とは東西国際回廊（アビジャン・ラゴス回廊）や南北国際回廊（コトヌ・ニアメ回廊）で結ばれている。こうした地理的条件を踏まえ、ベナン政府は 2016 年に「政府行動計画（2016-2021）」を閣議決定し、地理的利点を活かした経済構造改革推進のため、「輸送インフラ強化」を重要戦略に掲げた。道路網の整備等を進めつつ、成長産業（農畜水産業及びその加工、観光業等）の強化・育成方針のもと、具体的方策の一つに「コトヌ自治港周辺の道路網の再開発工事」を挙げている。

さらに、JICA が策定支援した「西アフリカ成長リング回廊整備戦略的マスタープラン」（2018 年 3 月）の重要戦略 5 として域内経済統合のための東西国際回廊輸送インフラの戦略的アップグレードが掲げられ、優先事業の一つに本計画の対象であるコトヌ市内の交差点改良が挙げられている。

ベナン最大都市のコトヌ市は国土南端のギニア湾に面し、前記 2 本の国際回廊が交わる位置にあることに加え、西アフリカの主要港の一つであるコトヌ自治港を擁している。同

港の貨物取扱量は年間 1,009 万トン（2019、同港統計）であり、同国の経済成長や内陸部及び周辺国への貨物輸送等において重要な拠点である。

このように、同市は物流の拠点となっているため市内の交通量も年々増加しつつあるが、特にベドコ交差点は、東西国際回廊と市中心部を東西に抜けるアーバン道路との分合流点となっている特性上、特に朝夕のラッシュ時には著しく交通が集中し、終日市内で最も渋滞が激しい交差点である。こうした状況は、円滑な物流及び交通の妨げ、ひいては経済活動の支障となっている他、歩行者と車両との接触事故の原因ともなっている。

こうした状況下、無償資金協力「コトヌ市ベドコ交差点立体交差建設計画」（2021 年 G/A 締結。以下「第一次計画」という。）の協力準備調査では、特に交通量が多いことが確認できたベドコ交差点につながる東西南の 3 方面（東西国際回廊及びアーバン道路）の交通円滑化のため、東西方面（アーバン道路）の片側 2 車線化と高架化並びに既存環状交差点（ラウンドアバウト）の信号交差点への改良が必要であるとされ、第一次計画として、まずはアーバン道路の片側（西から東方面）の 2 車線化と高架化及び交差点の改良を行う事業を実施している。交差点改良により期待される交通渋滞の解消及び歩行者と車両との接触事故の減少を実現させるためには、第一次計画後、シームレスに東西方面の改良（容量拡大と高架化）を完了させ、交差点に流入する交通量の削減が不可欠である。本計画は、同交差点の東から西に向かう車線を高架化（2 車線化）することで東西方向における立体交差の双方化を図り、将来の渋滞状況の改善を目指すものである。本計画の早期実施により交通渋滞の改善に資することが期待され、前記「政府行動計画」の目標達成に貢献する優先度の高い事業に位置付けられるとともに、ギニア湾沿岸諸都市間での輸送コスト及び時間コストの縮小により域内経済統合が促進されることも期待されている。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容：

【施設】 2 車線の高架橋建設（橋長約 270m、5 径間）

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、施工監理（ソフトコンポーネントはなし）。

② 期待される開発効果

高架橋の建設によりベドコ交差点平面部に直接流入する交通量が減少することで、同交差点での渋滞が解消され、物流の円滑化が促進されるとともに輸送費用の低減が図られる（交差点を通過する貨物量：8,774 千トン/年（2019 年））。これによりベナンを含む周辺国沿岸部都市間での物流に関し、輸送コストと時間コストが縮小され市場としての統合が促進されることで域内の産業発展が促される。

③ 計画実施機関／実施体制：インフラ運輸省

他機関との連携・役割分担：特になし

④ 運営／維持管理体制：

インフラ運輸省の実施部局であるインフラ管理・モニタリング部は、主に道路・構造物点検とそれにより得られた情報のデータベース化を行い、その結果に基づいて維持管理に係る全体計画の策定と維持管理補修予算の作成を行う。また道路・農道維持管

理部は、日常・定期維持管理業務を担い、道路維持管理についての個別の工事計画の立案及び直営による維持管理作業を行う。同省傘下の組織である道路基金が維持管理費の執行を所掌しており、その歳入源は主として燃料税等からなり（2018年までの5年間では政府等からの補助金は歳入の5%程度）、各種工事に必要な道路維持管理費を配賦する。2012年から2018年までの5年間の歳入平均は約26億円である。

（2） その他特記事項

- 環境社会配慮 カテゴリ分類：B
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 他の援助機関の対応

アフリカ開発銀行（AfDB）は、2020年3月に東西国際回廊の開発事業（高速道路整備）に係る準備調査を実施済。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

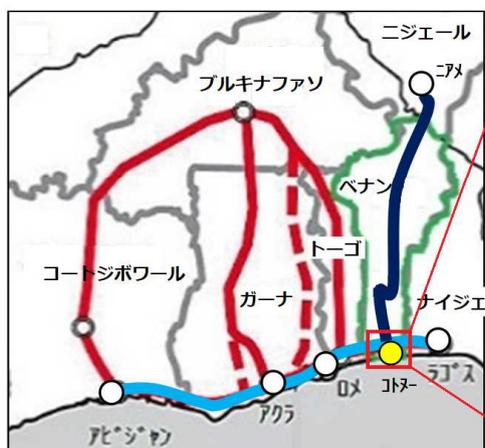
マラウイ向け無償資金協力「バラサー-サリマ間国道5号線橋梁架け替え計画」（評価年度2013年）の事後評価等において、橋梁の維持管理予算を十分に確保することの重要性が指摘されている。本計画においては維持管理計画及び予算措置の重要性を調査の段階から先方政府に申し入れ、維持管理を担当する部署による維持管理予算計画の立案及び必要な維持管理費の予算の確保を確認する予定。

以 上

[別添資料] 地図

[別添資料] 写真

- 西アフリカ成長リング
- アビジャン・ラゴス回廊（東西国際回廊）
- コトヌ・ニアメ回廊（南北国際回廊）

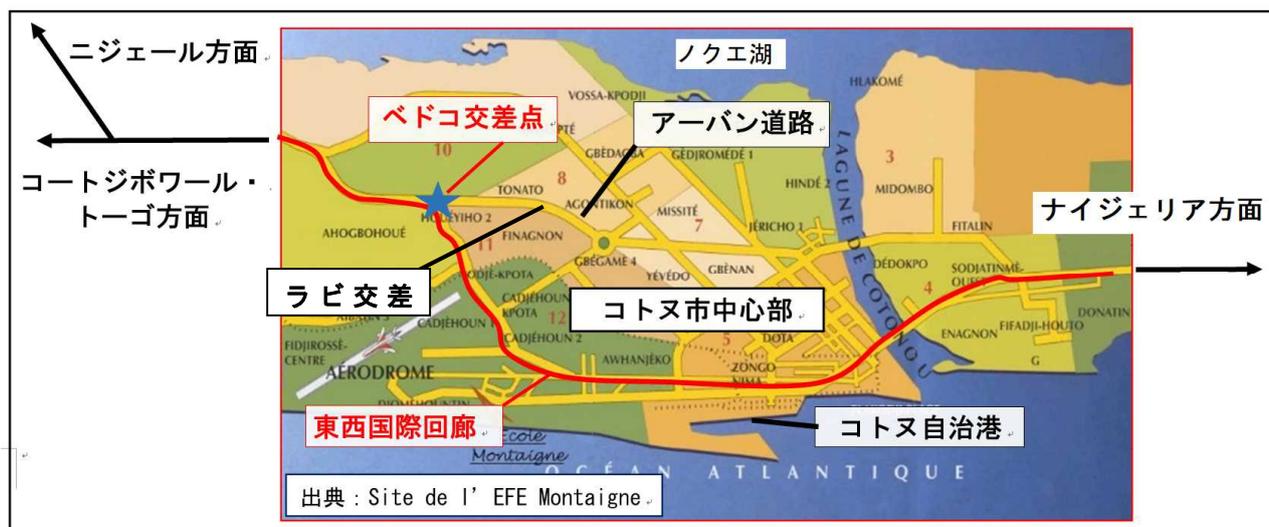


出典：外務省HP



出典：Yahoo Map

コトヌ市拡大図



出典：Site de l' EFE Montaigne

出典：ベナン国コトヌ立体交差建設計画準備調査報告書（国際協力機構）

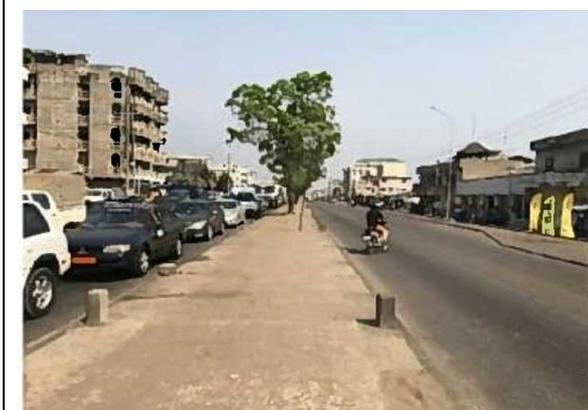
交差点付近写真



南側より交差点方面を望む（渋滞する交差点流入車列）



交差点を通過する大型車両



交差点付近より東側を望む（渋滞する交差点流入車列）



東側より交差点方面を望む（渋滞する交差点流入車列）

出典：ベナン国コトヌ立体交差建設計画準備調査報告書（国際協力機構）